



主な内容 3月定例会

令和7年度方針別主な事業

施政方針への質問

一般会計予算への総括質疑

9名の議員による一般質問という名の政策提案

2

4

7

14

文化財防火デー〈文化財を火災・震災その他の災害から守る〉
伊達地方消防組合少年少女消防クラブによる消火訓練のようす
国指定重要文化財「旧伊達郡役所」 令和7年1月26日（日） 桑折町文化財防火訓練

3月定例会

●会期: 2月28日(金)
～3月19日(水)(20日間)

提出議案 26件 審議採決

条例制定 1 件、条例改正11件、令和 6 年度一般会計及び特別会計補正予算 5 件、
令和 7 年度一般会計及び特別会計予算 7 件、その他 2 件

令和 7 年度施政方針別主な事業予算

単位 (万円)
千円以下非表示

1 活力と賑わいに満ちたまちづくり

桑折町地域おこし協力隊委託事業	3,199万円
新規就農者・後継者育成支援事業	2,000万円
農地再生・利用集積促進事業	320万円
桑折の魅力彩発見集客販路開拓事業	100万円
空き店舗出店支援事業	125万円
いちい内自習室運営事業	338万円



地域おこし協力隊

2 危機管理に備えた安全安心のまちづくり

高齢者安全運転支援装置設置事業	30万円
防災関連機器整備事業	1,200万円
防犯灯整備・維持管理事業	190万円
避難所生活環境改善事業	2,489万円



地域防災訓練

3 暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり

町道 (内ノ馬場線・追分下半田線)・水路維持管理	10,000万円
歴史観光交流センター整備業務	3,013万円
水道事業基本計画策定業務	1,850万円
桑折町若者定住促進事業	1,410万円
住宅用再生可能エネルギー設備設置補助金	408万円
一般廃棄物収集運搬業務	3,359万円



追分下半田線



内ノ馬場線



健康料理教室

4 健康長寿で元気なまちづくり

「ヘルスアップタウンこおり」宣言に基づく健康づくり事業	472万円
「献上桃の郷」おでかけパス利用助成事業	1,320万円
妊婦・出産ママ交通費助成事業	72万円
保健福祉センター消防用設備自家発電装置交換工事	1,700万円

5 子どもを大切にするまちづくり

給食費保護者負担軽減事業 (幼・小中)	5,794万円
制服支給事業 (幼・小中)	625万円
子ども家庭センター事業	2,513万円
子育て支援センター運営業務委託事業	1,196万円
認定こども園に対する支援事業	29,717万円
インフルエンザワクチン 2 回接種助成事業	161万円
学校のあり方検討事業	42万円
平和学習派遣事業	71万円
特別支援教育の充実	4,388万円
英語教育推進事業 (幼・中)	338万円
AI 型教材の導入 (中)	16万円



制服贈呈



異文化体験

6 交流で絆を育むまちづくり

町制施行70周年記念事業	
「伊達の城」シンポジウム等事業	1,000万円
半田銀山の歴史 漫画制作事業	77万円
物置のピアノ上映会	59万円
こおり宿 楽市・楽座	997万円
半田山 山開き事業	66万円
町ホームページリニューアル事業	800万円
献上桃の郷こおりプロモーション事業	1,811万円



町制70周年ロゴマーク

施政方針への質問

1 活力と賑わいに満ちたまちづくり

農地再生集積促進事業について

行政的的確な判断で活用を促進

川村 滋道 議員

問 遊休農地の解消問題

は空いてるから貸してではなくその農地の歴史と担ってた方の事情と隣接の方々の理解等、様々な要素がある。一例として、私も農地の賃貸契約を行うに当たり「農業委員、地域おこし協力隊の本人、受け入れ農家、隣接の土地で桃を作っている農家」の方々の一堂に会してもらい、借地の図面を見ながら土地の特性、風向き、栽培に適した品種、作業の留意点など、いろいろ議論を重ねて合意に至った。そこを理解いただくことが肝心と思う。時間がかかるがそのプロセスを踏む時間をとれるのがが遊休農地解消の要と考えるがどうか。

答 双方のマッチングがスムーズにいくように行政としても的確に対応したいと思う。

市街化調整区域開発規制緩和を

現行法の枠内での対処

齋藤 松夫 議員

問 施政方針の中で

「土地利用の推進」が謳われ「都市機能の集積・誘導を図る」としていることに関して伺う。現在の都市計画法は昭和45年頃のものとして記憶する。文字通り右肩上がりの時代であった。いまは右肩下がり時代の代となった。人口減少問題に現れているように、衰退傾向にある農村に活力をとりもどす施策として、市街化調整区域、特に白地区域の開発規制緩和を国に働きかけていくべきときとなっているのではないか。所見はどうか。

答 市街化調整区域の開発は、なかなか難しい状況にある。そうした中にあるのは、これまで取り組んできた都市計画法34条11号の活用など、現行法の枠内での開発を中心に進めていく方針である。

「桑折の桃」

関東圏にセールスを差別化を図り

テレビ番組にも出演

羽根田ひとみ 議員

問 「献上桃の郷」ブ

ランドを確固たるものとし、トップセールスやシテイプロモーションを強化されるとある。今後さらにどのような強化をお考えか。仙台圏のみならず、関東圏への強化も考えているのか。

答 次年度も仙台圏を中心にメディア・動画を活用しながら展開していくが、関東圏にも視野を広げ、テレビ番組で取り上げてもらえるように考えている。

町道・水路等は計画性をもって改善する

水路は莫大な費用を要するため、難しい

斉藤 謙 議員

問 町道・水路の改善は、

町民の安全・安心を図る上で重要なものであり、計画性をもって、改善していくこと。いつ自然災害が来るとはわからず、能登地方でも現在も水不足に苦慮している。

答 水道管の修繕は、

莫大な財源を要するため、改善していくためには、大変難しい。

『原風景』を残す

施策の展開を

原風景は

新たに創るものでもある

山梨の桃といえば、春日井が有名だが、福島

の桃といえは桑折となるよう差別化を図る仕掛けをしていく。

半澤 高 議員

問 帰省した人、来町者、そして町民に

とってホッとすると町の『原風景』を桑折ならではの魅力として残す施策の展開があっても良いのではないかと。町を離れていた方々が、桑折に戻ってきた時にホッとするような景観は必要であると感じている。また、原風景の捉え方は世代によって違うのではないかと、若い人には若い人たちなりの原風景があると思う。さらに失ってしまった原風景もあるが、開発を進めているなかで変わってしまったものもあり、そういった点からみると『原風景』は、守っていくものであり創っていくも

3 暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり

町道・水路等は計画性をもって改善する

水路は莫大な費用を要するため、難しい

斉藤 謙 議員

問 町道・水路の改善は、

町民の安全・安心を図る上で重要なものであり、計画性をもって、改善していくこと。いつ自然災害が来るとはわからず、能登地方でも現在も水不足に苦慮している。

答 水道管の修繕は、

莫大な財源を要するため、改善していくためには、大変難しい。

『原風景』を残す

施策の展開を

原風景は

新たに創るものでもある

幼・小中の給食無償化の継続を

保護者の負担軽減を最優先

半沢 正保 議員

問 給食無償化は保護者等から大変感謝されている政策である。しかし、社会情勢の変化が激しく米・小麦等すべての食材が急激に高騰する中、「給食単価も上昇」している。今後、大幅な負担増となる

答 完成時期は令和8年度。民間の力・経済力・発想力等を借りて進めていきたい。交流センター並びに伊達郡役所の管理運営について、先般国土交通省のサンディングがあったので参考に提案を求めたら民間でも非常に興味を持たれている。大手の何社かは現地視察を行った。プロポーザルで最終事業者が決定し、今後、設計に向けて民間の知恵等を借りながら進めていくのも一つの手法と考える。

民間のノウハウを活かしては

知恵等を借りながら進めたい

佐藤 武朗 議員

問 本町の玄関口ともなる（仮称）歴史観光交流センターの整備事業について、イオンの開業時期も明確になり本町への誘導を図るためには早めに開設時期を内外に発表すべきと考える。完成時期は、また、運営等も含め民間のノウハウ等を最大限に活かした取組も考えては。

答 完成時期は令和8年度。民間の力・経済力・発想力等を借りて進めていきたい。交流センター並びに伊達郡役所の管理運営について、先般国土交通省のサンディングがあったので参考に提案を求めたら民間でも非常に興味を持たれている。大手の何社かは現地視察を行った。プロポーザルで最終事業者が決定し、今後、設計に向けて民間の知恵等を借りながら進めていくのも一つの手法と考える。

交流で絆を育むまちづくり

完成時期は令和8年度。民間の力・経済力・発想力等を借りて進めていきたい。交流センター並びに伊達郡役所の管理運営について、先般国土交通省のサンディングがあったので参考に提案を求めたら民間でも非常に興味を持たれている。大手の何社かは現地視察を行った。プロポーザルで最終事業者が決定し、今後、設計に向けて民間の知恵等を借りながら進めていくのも一つの手法と考える。

6 交流で絆を育むまちづくり

完成時期は令和8年度。民間の力・経済力・発想力等を借りて進めていきたい。交流センター並びに伊達郡役所の管理運営について、先般国土交通省のサンディングがあったので参考に提案を求めたら民間でも非常に興味を持たれている。大手の何社かは現地視察を行った。プロポーザルで最終事業者が決定し、今後、設計に向けて民間の知恵等を借りながら進めていくのも一つの手法と考える。

2 子どもを大切に

町民意見聴取に向けての対応はアンケート調査等実施している

鈴木 隆志 議員

問 今後の本町の小・中学校のよりよいあり方について、幅広い視野と長期的な見通しを持って総合的に検討を行うにあたり、町民から幅広く意見を聴取し、総合的に検討していく必要があると考えるが町の見解を伺う。

答 伊達衛生処理組合では既に収集可燃ごみ全体の組成分析を実施しているが、本町においても、令和7年度から独自の「可燃ごみ組成分析」を実施するものである。項目として24種、年4回、場所として伊達衛生処理組合内の施設を借りて実施する。検査データを検証することでごみ減量化に向け効果的な対策を確立していく事が可能となる。

「可燃ごみ組成分析」の効果は

ごみ減量化対策の指針となる

いしはた まさこ 石幡 政子 議員

問 令和7年度での新規事業として「可燃ごみ組成分析」実施計画があるが、具体的な実施内容を伺う。

4 健康長寿で元氣なまちづくり

団体の活動内容も共有でき仲間を増やすPRにもなる。人生100年時代、自分に合った学びを見つけそれを生かすことが、元氣なまちづくりの一翼を担う生涯学習の役割・成果でもあると考えるが。

生涯学習とは何か

悩む。それぞれの分野での取組発表等は文化祭に留まらず社会参加の一つの場面になる。その事は大きな波及効果があると捉える。皆で共有することは意義深い事から検討してみる。

川名 静子 議員

問 「いつでも どこでも だれでも」が学べるのが生涯学習である。それぞれの団体が年間を通して活動している。今年度予算は83万2千円だ。様々な分野で一年間学んだ成果を町文化祭の文化・芸能発表と同じく多くの町民の前で発表してはどうか。

施政方針

令和7年度

一般会計予算

可決

賛成6 反対5

0.2%増

前年比：1,010万円の増

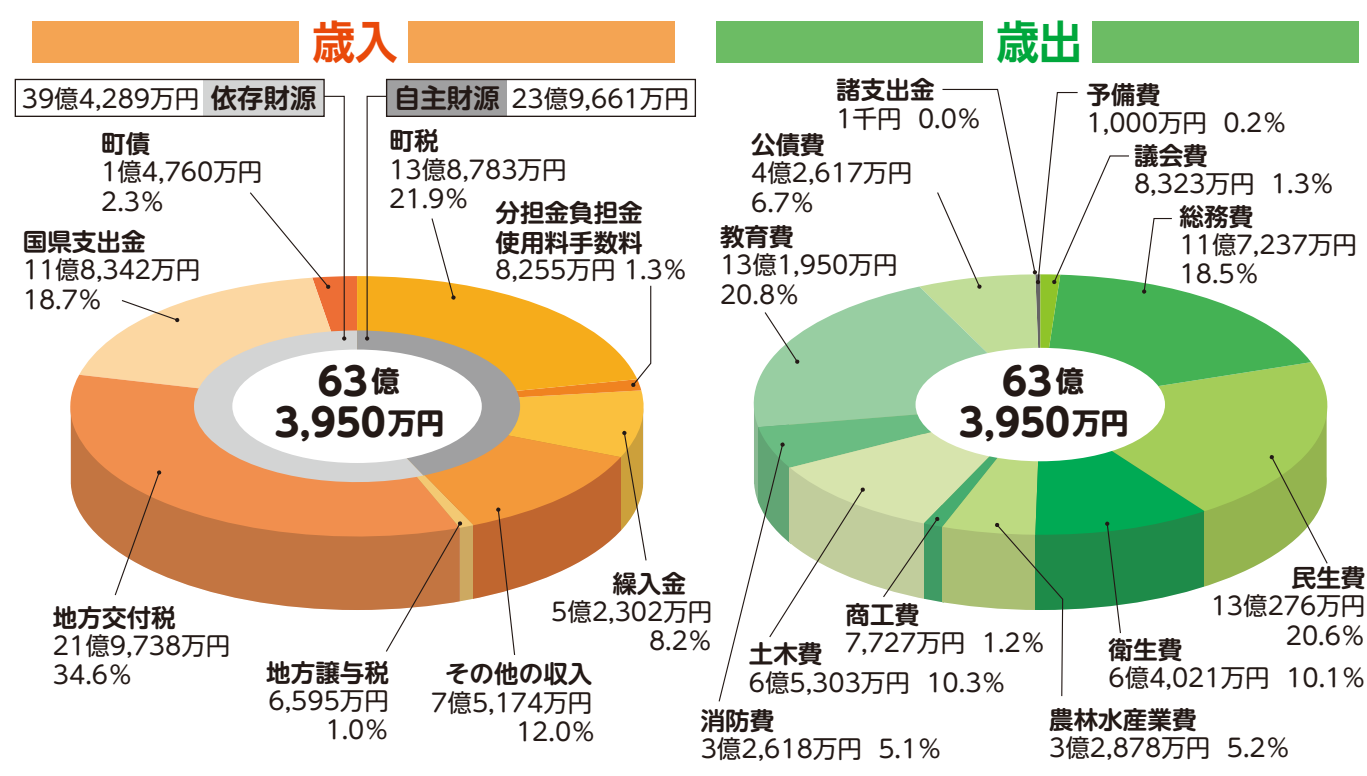
要因：国庫支出金の増額

63億3,950万円

一般会計・特別会計の当初予算が本会議において、原案のとおり可決されました。

歳入の主なもの	令和7年度予算額	対前年度増減額
町税	13億8,783万円	8,691万円
地方譲与税	6,595万円	▲ 72万円
地方消費税交付金	2億9,557万円	▲ 419万円
地方交付税	21億9,738万円	▲ 1億5,822万円
国庫支出金	7億3,459万円	2億1,943万円
県支出金	4億4,883万円	▲ 1億7,726万円
繰入金	5億2,302万円	1億5,344万円
町債	1億4,760万円	▲ 1,510万円

歳出の主なもの	令和7年度予算額	対前年度増減額
総務費	11億7,237万円	2,551万円
民生費	13億276万円	▲ 1億2,091万円
衛生費	6億4,021万円	4,865万円
土木費	6億5,303万円	9,910万円
教育費	13億1,950万円	▲ 356万円
公債費	4億2,617万円	▲ 1,557万円



子どもを大切に
まちづくりを

問

「桑折ならでは」の質の高い教育を実践するとしている。学力向上対策事業費約8,200万円はICT関連に費やされている。令和7年度小中学生の学力をどのようにして高めていこうとしているのか。学力向上策について伺う。

答

タブレット端末を、今年度は、AIドリルで基礎的・基本的な問題解決力を強化するとともに、個別最適な学習に取り組みさせていく。また、毎年4月に文科省が実施している全国学力・学習状況調査については、各小

問

次年度は町政施行70周年記念行事の計画が数多くある。その中で、町内の山車（だし）が集結するイベント企画の計画があるが、町民参加型の工夫はされているのか。

答

町内の各団体に協力依頼をする。また、9月の「こおり宿楽市・楽座」は実行委員会を立ち上げ、より多くの町民に関わ

問

0から2歳児対象で待機児童対策を行うが、現在の応募は73名で定員に47名も足りない。今回待機児童対策といいながら定員に満たなくても2名の職員雇用のための追加予算500万円は根拠のない補助金と言わざるを得ない。同僚議員の質問がなければスルーされる案件であった。合意書も質問がなければ分からないまま推移した。これは特定事業者に対する優遇策としか思えない補助金給付ではないのか。

答

事業者からの要望に基づき対応である。

問

4月に新設される「桑折青空こども園」に対する支援補助金については町負担分1億73万1千円であるが、この内訳は「保育・教育環境の充実のため」「人材確保に対する支援金」500万円とあるが、従来、桑折町が堅持してきた「待機児童ゼロ」施策を踏襲するための支援補助金というところか。

答

これまでの醸成保育所の実態と経緯を鑑み、待機児童ゼロを推進するために通常の保育士数を超える人材を確保する必要があるが、今般の社会情勢等から迅速な人材確保が困難であると認識する。以前のような臨時職員ではなく正規職員枠を確保することが重要と捉え、桑折の子ども達に対するより充実した保育支援を堅持するため支援するものである。

7—議会だより

議会だより—6

市街化調整区域の制限緩和に

佐藤 武朗 議員

問 空家対策に4点の事業内容で予算が計上。3月15日に「市街化調整区域の住宅再建築、制限緩和」と新聞に掲載された。県は調整区域設定前に建築された住宅の再建築を認める特例措置の最終調整に入った、との報道があった。空家調査にも関連することから「桑折まちづくりネット」と制限緩和について、今後協議、検討されている取り組みは。

答 新聞に掲載された内容については承知している。宅地の状況である空地は不動産会社等でも取得、建築、売却等が可能になる。タイムリーな報道がなされたものの決定ではない。一日でも早いこの制度が、決定されれば「桑折まちづくりネット」とも、市場に出せる物件等の調査、活用に向け協議を進めたいと考える。

待機児童ゼロのための補助金は

鈴木 隆志 議員

問 待機児童ゼロに向けての対策として、保育士確保のための、幼保連携認定こども園向け、補助金が予算計上されている。何を根拠として、町が待機児童向け保育士2名分の雇用が必要として500万円の予算を計上したのか、また、事前協議のうえ文書等取り交わし、町単独補助金として、全額補助金を支給することにしたのか伺う。

答 幼保連携こども園の運営に関する覚書にある、待機児童ゼロの堅持のため、年度途中の入園希望者に対し、事前に待機児童向け保育士を確保する必要から、町が保育士確保の支援策として補助金支給するもので、予算議決したのち、交付要項を作成し、補助金を交付するので、事前に文書等取り交わすことはしていない。

予算は町民のため、実質収支比率の改善を

斎藤 謙 議員

問 類似団体と比較しても、経常収支比率（4年88・9％）、実質収支比率（4年11・5％）が高い数値を示している。早期に各種経済指標を設定し、また、昨年の公会計報告においても、依然としてインフラ整備が改善されていない、インフラ整備は町民の安全・安心を図る上で、最も重要なことである。



各種経済指標に基づく、数値目標を設定することは大変難しい、公会計については、改善に努め、老朽化対策をしていく。

答 各種経済指標に基づき、数値目標を設定することは大変難しい、公会計については、改善に努め、老朽化対策をしていく。

地域おこし協力隊を商工業へ

岡本 貴士 議員

問 商工業分野において、地域おこし協力隊を活用するべきであると考え。令和7年度中に事業化する考えがあるものか伺う。

答 地域おこし協力隊については、令和7年度では、農業分野にとどまらず、活用分野を広げてみたい。本町の農業分野の地域おこし協力隊事業は、卒業後の定住を目的とした就農サポートが充実していることで高く評価されていると捉えている。商工業分野における地域おこし協力隊の活用についても、卒業後の定住に向けての環境整備を検討している。令和7年度の当初予算に反映していないが、条件が整えば、

事業化し、補正予算で対応していく。

全地区町民と共に祝える事業が

川名 静子 議員

問 1町3村が合併して70年、その記念として7年度予算総額約2,133万円の事業が、そして記念誌、式典も含めると約2,600万円となる。メインとなる会場が旧伊達郡役所から役場、イコーゼー周辺となる。4地区全ての町民と共に祝える事業にすべきと考えるが。

答 70周年の節目に当たり今日まで桑折町を築いて下さった先人に対する感謝と敬意を持っている。この10年は大変な時を過ごしてきた。発行した記念誌から故郷の歴史をご覧いただき来し方に思いを馳せ、今後の育成を皆で考える機会の年、イベントとしていく。

町営でやらぬものを民営でなぜ

齋藤 松夫 議員

問 町営保育所待機児童ゼロ方針に基づく対策は、待機児童が出た時点で保育士の配置をしてきたとの答弁である。ところが民営認定こども園事業者に対しては、待機児童の有無に関わらず、年度当初から2名の保育士配置予算（500万円）を計上している。町営でやらなかった保育士配置を、民営ならばやるというのは理解に苦しむ。その理由を述べられたい。「最小の経費で最大の効果を生む」ことが予算編成の原則ではないか。仮に待機児童が出なかった場合、500万円町費支出の責任はどうするのか。

答 待機児童が出てからの対応では保育士確保が困難だからだ。待機児童が出なかったとしても、保育士2名増員でゆきとどいた保育ができることとなる。

一般会計予算 討論

賛	成	議案	反	対
<p>こども園に対する支援については、待機児童を0とし、子育てする親を町はバックアップすべきと考える。また、ホームページのリニューアル・健康増進企画・地域部活動の促進など、元気で活気ある町づくりに期待して賛成する。</p> <p>70周年行事は町民参加型！昔の町民運動会のように、多くの町民が関わられるものとなるよう願う。</p>	<p>はねだ 羽根田ひとみ 議員</p>	<p>さいとう まつお 齋藤 松夫 議員</p>	<p>党議員団を代表し、次の理由から反対の討論を行う。</p> <p>第一 福島蚕糸跡地利活用事業における政策判断の誤りが鮮明になった予算である。</p> <p>第二 前総合計画や第2期子ども子育て支援事業計画を無視しかつ瑕疵ある事務の連続執行のもとでの事業と予算である。</p> <p>第三 虚偽公文書作成、虚偽答弁に対する反省がない事業と予算編成である。</p>	
			<p>今まで町が保育料差額を負担した約7,994万円を含む町独自の補助金として認定こども園に1億73万円を予算化した。その中に待機0を堅持してもらう名目での任用職員分人件費500万は理解できない。現在78名申し込みに対し保育教諭51名を確保している。2回にわたる覚書にも記載がない。開園後の事は民間が考えるべき事だ。</p>	
<p>総合計画に沿った適切な予算。農業分野では、多くの課題解決の予算が計上、町政施行70周年の各種事業予算、人口減少の歯止めにつながる各種の予算を計上。蚕糸跡地の利活用の最終仕上げとして、幼保連携認定こども園が運営開始。将来を担う乳幼児保育に民間事業者と密なる連携をはかり取り組まれることを期待し賛成とする。</p>	<p>さとう たけろう 佐藤 武朗 議員</p>	<p>かわ な しずこ 川名 静子 議員</p>	<p>町民の大切な予算であると理解しているが、醸芳保育所で待機児童向け保育士を確保せず待機児童ゼロを堅持してきた。なぜ、こども園で待機児童向け保育士を確保する必要があったのか、なぜ、保育士2名分500万円の人件費を町が全額負担するに至ったのか。待機児童ゼロは必要だが、納得できる説明がないので反対とする。</p>	
			<p>すずき たかし 鈴木 隆志 議員</p>	



一般会計（第7号）

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1億4,160万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ66億2,720万9千円とする。

	令和7年度予算	令和6年度予算	比較
国民健康保険	12億9,918万円	12億9,164万9千円	753万1千円
後期高齢者医療	2億1,836万2千円	2億841万6千円	994万6千円
介護保険	16億8,223万1千円	17億1,037万2千円	2,814万1千円
半田財産区	68万4千円	56万9千円	11万5千円
水道事業	3億6,751万9千円	3億6,713万3千円	38万6千円
下水道事業	2億5,304万9千円	2億5,464万円	▲159万1千円

主な歳入	町税（町民税・固定資産税・軽自動車税）	増	8,946万3千円
	法人事業税交付金		81万1千円
	地方交付税	増	8,317万9千円
	新しい地方経済・生活環境創生交付金		1,244万5千円
	地方創生臨時交付金	増	2,752万1千円
	原発事故に係る損害賠償金		103万円
	湛水防除事業債		160万円
	ため池整備事業債		110万円
	防災・安全交付金	減	▲2,224万3千円
	がんばるふるさと・桑折応援寄付金		▲5,000万円
	財政調整基金繰入金	減額	▲1億7,754万5千円
	公共施設維持管理基金繰入金		▲4,200万円
	伊達桑折 IC 周辺インフラ整備基金繰入金		▲1,144万円

主な歳出	社会福祉総務一般費	増	466万9千円
	商工振興対策費		2,435万7千円
	道路維持管理費	増	327万円
	防災対策費		2,391万9千円
	ふるさと納税制度運用業務費	減額	▲1,660万円
	基金管理費		▲2,762万7千円
	保育所管理運営費		▲1,212万7千円
	予防接種事業費		▲1,767万6千円
	農業振興対策事業費		▲1,722万5千円
	橋梁維持管理費		▲2,000万円

定例会提出案件

条例制定

◆桑折町犯罪被害者等支援条例制定

条例の内容

犯罪被害者の支援について、町、及び地域社会の責務を明らかにするとともに、犯罪被害者等支援の基本となる事項を定め、犯罪被害者等が受けた被害の回復又軽減及び犯罪被害者等の生活の再建を図り、犯罪被害者等を地域社会全体で支え、誰もが安全に安心して暮らせる地域社会の実現に寄与することを目的とする。

条例改正

◆刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

改正の内容

刑法の一部を改正する法律が令和7年6月1日に施行されることに伴い、関係条例の整理が必要となった。

◆桑折町一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部改正

改正の内容

県人事院勧告に準拠し、特定任期付職員の勤勉手当の支給や期末手当支給率を改定する。

◆桑折町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

改正の内容

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律が令和7年4月1日に施行されることに伴い、仕事と生活の両立支援を拡充する。

◆桑折町職員の育児休業に関する条例の一部改正

改正の内容

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対

請に伴い町道の廃止を行うため議会の議決を求める。
1 路線名 4025号線
2 起点・終点 桑折町大字谷地字北道場40―1

請願・陳情審査結果

請願・陳情とは

意見や要望を行政に反映させる制度
※請願・陳情の作成提出方法については議会事務局へお問合わせください。
電話024(582)2113

請願

◆国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての請願（請願者）
伊達市梁川町柳田字町ノ内75―1
新日本婦人の会伊達支部 支部長 渡辺サツ子
紹介議員 川村滋道 齋藤松夫

（審査委員会）
総務文教常任委員会
（審査結果）
継続審査

陳情

◆福島県最低賃金の引き上げ早期発効を求める意見書提出の陳情について（陳情者）
伊達市保原町字船橋180番地
日本労働組合総連合会福島県連合会伊達地区連合 議長 高橋誠一

（審査委員会）
産業厚生常任委員会
（審査結果）
趣旨採択

策推法の一部を改正する法律が令和7年4月1日に施行されることに伴うもの。

◆桑折町職員の給与に関する条例の一部改正

改正の内容

県人事院勧告に準拠し、給与制度のアップデート等及びラスパイルス指数の改善対策として、令和7年4月から9月に限り、3級から6級の行政職職員の給料月額100分の2を減額する措置を講ずるため。

◆桑折町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

改正の内容

令和6年12月の保育所条例の廃止に伴うもの。

◆子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行に伴う一部改正

改正の内容

子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令が令和7年

4月1日に施行されることに伴う。

◆桑折町都市公園条例の一部改正

改正の内容

道合地内町有地売却に伴い都市公園範囲を見直しするための地番の改正。

◆桑折町公営住宅条例の一部改正

改正の内容

町営住宅の個数減に伴うもの（坂下団地 3戸減）

◆桑折町給水条例の一部改正

改正の内容

「生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令」及び「生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整理に関する省令」の公布に伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の

町道の廃止

内容

払下げのため町道廃止申

一般質問という名の政策提案



3月定例会は議員9名が登壇

※青字は、質問の概要を掲載しています。
※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員をお願いします。

登壇議員	質 問 事 項
さいとう 斉藤 けん 謙	1 高齢者が安心して暮らせるまちづくり等に関して ② 身体障がい者が安心して暮らせるまちづくり等に関して ③ 財政運営等に関して 4 「桑折町職員の懲戒処分等に関する規則」に関して 5 総合計画と財政計画に関して
すずき 鈴木 隆 志	1 釀芳保育所廃止に伴う今後の利活用について ② 町有地、施設の有効活用について ③ 半田公民館の委託管理について 4 歴史文化エリアの中核施設について
はんざわ 半沢 まさ 正 保	① 人口減少を食い止めるための施策について ② 小中学校における AI 利活用による教育環境整備の課題とその展望について
かわな 川名 静 子	1 R7年度予算は前年度予算の検証を活かし町民が安心して暮らせる予算配分となったか 2 住民自治組織の見直しは今後の人口減・高齢者増からも喫緊の課題である考えるが ③ 増え続けている孤立・孤独問題に私達は何をなすべきなのか、自治体が抱える課題は ④ 人材育成、人材確保は人口減少問題と大きく関わってくることから町の対策を伺う。
はねだ 羽根田 ひとみ	1 桑折町出身者との交流会開催について ② Uターン移住促進について 3 公共施設の使用料金の見直しについて ④ 多頭飼育崩壊防止対策について
はんざわ 半沢 たかし 高	① 上下水道の現状と維持管理について ② (仮称) 福島北風力発電事業について 3 「大かや園」の新風呂カビ対策について 4 小中学校教職員の働き方改革特に業務量の適切な管理について
かわむら 川村 しげみ 滋 道	1 桑折町小・中学校のあり方検討委員会関連について ② 文化財保護利活用関連について 3 災害時に開設する避難所と備品について ④ 本町の専門職員の状況について 5 蚕糸跡地利活用事業の事務執行について
さいとう 齋藤 まつお 松 夫	① 合併ではなく自立の道を選択してからの20年間の総括について 2 日本被団協ノーベル賞受賞に対する評価と見解について ③ 蚕糸跡地利活用事業の進め方及びそのことに関する答弁 (文書回答含む) について 4 小中学校あり方検討について 5 水道事業ビジョン具現化について
おかもと 岡本 たかし 貴 士	① 桑折町の町制施行70周年記念事業について ② 東北道のカントリーサインの活用について

一般質問とは、議会で議員が行政（町長や役場など）に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。

町民の思いや願いを届ける
65分

一般質問

臨時会

第7回(令和6年12月20日)
条例改正2件 補正予算1件

条例改正

◆桑折町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
◆桑折町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

内容

町議会議員及び町三役の期末手当支給率を改定するための改正。

補正予算

既定の予算額に、歳入歳出それぞれ4,118万2千円を追加し、総額67億6,881万3千円とする。

補正予算の主な歳入		
項 目	補 正 額	適 用
地方創生臨時交付金	3,675万6千円	物価高騰対策重点支援（低所得者世帯支援枠） 地方創生臨時交付金
財政調整基金繰入金	442万6千円	補正予算の財源調整分

補正予算の主な歳出		
項 目	補 正 額	適 用
議会管理運営費	33万1千円	町議会議員期末手当
職員人件費（一般管理費）	20万6千円	町長・副町長の期間手当・共済組合負担金
住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業	3,447万7千円	住民税非課税世帯1世帯当たり3万円の給付
低所得者の子育て世帯への加算給付事業費	227万9千円	住民税非課税世帯等18歳以下の児童1人当たり2万円の加算給付
職員人件費（事務局費）	9万4千円	教育長の期末手当・共済組合負担金
文化財調査費	379万5千円	埋蔵文化財「上ノ台遺跡」の想定範囲内で民間事業者による開発計画があり、試掘調査のため。

一目でわかる 審 議 結 果



結果報告のページへ

令和6年第7回桑折町議会臨時会 ○全会一致で可決の議案

議 案 名		討 論 者
議案第52号	桑折町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第53号	桑折町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第54号	令和6年度桑折町一般会計補正予算（第6号）	

令和7年第1回桑折町議会定例会

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤謙	半澤 高	川名静子	原 賢志
一般質問者	○	○	○	○	—	○	○	—	○	○	○	—

○賛否の分かれた議案

議 案 名		川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤謙	半澤 高	川名静子	議長	可 否
議案第20号	令和7年度桑折町一般会計予算	●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	—	可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 討論者

○全会一致で可決の議案

議 案 名		討 論 者
議案第1号	桑折町犯罪被害者等支援条例	
議案第2号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
議案第3号	桑折町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第4号	桑折町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第5号	桑折町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第6号	桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
議案第7号	桑折町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例	
議案第8号	子ども・子育て支援法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	
議案第9号	桑折町都市公園条例の一部を改正する条例	
議案第10号	桑折町町営住宅条例の一部を改正する条例	
議案第11号	桑折町給水条例の一部を改正する条例	
議案第12号	桑折町下水道条例の一部を改正する条例	
議案第13号	指定管理者の指定について	
議案第14号	桑折町道路線の廃止について	
議案第15号	令和6年度桑折町一般会計補正予算（第7号）	
議案第16号	令和6年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）	
議案第17号	令和6年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
議案第18号	令和6年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第4号）	
議案第19号	令和6年度桑折町半田財産区特別会計補正予算（第1号）	
議案第21号	令和7年度桑折町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	
議案第22号	令和7年度桑折町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第23号	令和7年度桑折町介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	
議案第24号	令和7年度桑折町半田財産区特別会計予算	
議案第25号	令和7年度桑折町水道事業会計予算	
議案第26号	令和7年度桑折町下水道事業会計予算	
所掌事務調査報告について		
閉会中の継続審査の申し出について		
閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について		

※報告は採決なし



鈴木 隆志 議員

質問 半田公民館の今後の委託管理は

答弁 半田地区住民自治協議会が管理



しっかりと半田地区自治協議会で管理

- 問** 協議会から半田公民館の委託管理の申し出がなされたが。
- 答** 教育長 半田地区自治協議会に半田公民館を委託管理してもらうための関連経費を令和7年度当初予算に計上した。
- 問** 半田地区自治協議会に半田公民館を委託管理してもらうことの効果は。
- 答** 教育長 これまで週3日の開館が、週5日に増え、利便性が良くな
- 問** 半田地区自治協議会から半田公民館の委託管理の申し出がなされたが。
- 答** 教育長 半田地区自治協議会に半田公民館を委託管理してもらうための関連経費を令和7年度当初予算に計上した。
- 問** 半田地区自治協議会による公民館委託管理について他の3地区の自治協議会に事例紹介する予定は。
- 答** 教育長 桑折町として初めての試みであり、機会を捉え説明し、今後の公民館の管理のあり方の参考にしたい。



齊藤 謙 議員

質問 高齢者及び身体障がい者への対応徹底

答弁 「桑折町地域福祉計画」に基づき、周知徹底を目指す



- 問** 高齢者の孤独・孤立推進法への対応をどのように行っていくのか。
- 答** 県の研修会等に積極的に職員を派遣し、理解促進に努めていく。
- 問** ヘルプマークについては、支援の必要な方への周知と町民への制度理解を促進すべきでないか。
- 答** 民生委員等への周知策を社協を通じて、周知策を図る。

質問 経常収支比率・実質収支比率の早期改善を図る

答弁 財政指標の数値目標設定は大変難しい

地方財政はますます厳しいことが予想され、健全財政の維持継続していくためには、財政運営の目指す姿と分析視点を常に注視し、類似団体と比較し分析をしていく必要がある。

中でも財政分析指標である実質収支比率、経常収支比率等は特に注視すべきで、また公会計でのインフラ整備

の遅れ等を指摘されていることに対する改善がなされていない等課題があり、早期の改善が求められる。

特に実質収支額が4年度は11%台で高止まっていることは問題である。

これも質問

- 問** 職員の懲罰結果は早期に公表を
- 答** 今年度中に公表する
- 問** 事務ミスは残業時間増加に繋がる
- 答** 軽微ミスも役職に徹底指導させる
- 問** 町民の為のインフラ整備を促進
- 答** 各種施策に基づき進める

これも質問

- 問** 釐芳保育所解体跡地の駐車場の利用は
- 答** 安全対策上、幼稚園関係者のみの利用とする
- 問** 仮称歴史観光交流センターの整備計画は
- 答** 年度内に基本設計者の選定を進めていく

質問 未利用の町有地、施設の利活用は

答弁 利用状況を確認し利活用していく

- 問** 旧半田釐芳幼稚園の利活用は。
- 答** 町長 民間からの提案を含め今後検討していく。
- 問** 旧睦合幼稚園跡地の利活用は。
- 答** 教育長 利用計画がないので、跡地管理に努めていく。
- 問** 旧駅北側駐車場の利活用は。
- 答** 町長 一般競争入札による売却に向け測量調査に着手した。
- 問** ホタピーハウスの利活用は。
- 答** 町長 移住につながった事例がないことから、今後の在り方等検討するため一時中止予定。
- 問** 各小学校プール跡地の利活用は。
- 答** 教育長 プールについて「イコーゼ」に移行したので、今後解体していく。
- 問** 桑島分庁舎の利活用は。
- 答** 町長 老朽化が進んでいることから、隣接する桑折公民館と併せ今後検討していく。
- 問** 駅前倉庫の利活用は。
- 答** 町長 倉庫として活用していることから、引き続き適正管理していく。



川名 静子 議員

質問 孤立・孤独対策、町がすべき事は

答弁 ケースに応じ各部署と連携支援を

問 町長

本人の申し出、民生委員からの情報提供等から把握し、ケースに応じ社福協や県北保健福祉事務所等と連携、日常生活上の相談・支援等に当たる。高齢者は地域包括支援センターが相談窓口、専門職員が相談に応じ

問 若年・中年層・高齢者の把握と相談体制は。

答 町長 既存の会議体で個々のケースに応じ相談・支援に当たっている。

問 本町の対策と相談体制は。

答 町長 「人とのつながり」が薄れてきた事でこの問題は更に深刻になっている。孤独を感じている人は社会構造の変化等だけが原因ではないと考えるが、仮に孤独・孤立に至ったとしても支援を求める声を上げやすい本町になっているか。

問 「つながり」を結び直す必要は。

答 町長 地域住民による「支え合い（互助）」が重要だ。要支援者に対するネットワーク強化に取組む必要があると捉える。

問 官民連携プラットフォームの立ち上げも必要では。

答 町長 1月に県が立ち上げた。連携して進めていく。

官民連携プラットフォーム（イメージ）

水平的な連携・協働を促進する

地方公共団体 (行政機関の各部署) 地域住民、地域団体 ・町内会 ・民生委員・児童委員 ・保護司 ・ボランティア 等	当事者等支援を行う 民間団体 ・保健・医療・福祉等の専門機関 ・社会福祉法人 ・社会福祉協議会 ・NPO 等
民間企業 ・地域の企業 ・商店街 ・商工会 等	その他関係団体 ・様々な分野の市民活動団体 生協、農協、漁協、労働者協同組合 等

これも質問

問 節目の年全町民へ「しあわせ調査」をしては

答 先進地事例もある事から調査してみる

問 以前のように事務担当を町職員が担う事は

答 職員の前に地区住民だ。積極的な参加を促す



半沢 正保 議員

質問 人口減少への危機感と対策を

答弁 将来にわたる持続可能性を追求

問 町長

人口減少を食い止めるため、市街化調整区域の規制緩和と民間による宅地造成の推進を！「住宅用地の供給を増やし、若年層や子育て世代の定住を促進するため、市街化調整区域の規制緩和を検討すべきではないか。」（事例：高子駅北地区土地区画整理事業217区画）について伺う。

問 人口減に適切な組織的な取組について伺う。

答 町長 9月に改訂した「桑折町都市計画マスタープラン」に基づき、今後は地区計画制度等を活用し有効利用を図ってまいる。



高子駅周辺土地区画整理事業の現場

答 町長 将来にわたる持続可能性を追求していくため総合政策課を中心に定期的に政策協議等を実施し、行政評価を行い着実に対策を推進していく。

質問 AI活用・教育環境の充実を

答弁 中学校AIドリルを導入し活用

問 「AIが仕事を奪うのではなく、AIに精通した人が仕事を奪う」と言われるように、AIリテラシー向上は、これからの社会を生き抜くために不可欠である。小中学校のAI活用現状について伺う。また、文科省AIガイドラインを踏まえ、町教委として、どのような取組を進めていくのかを伺う。

答 教育長 生成AIについては、現在、教育活動においては使用していないが、AIについては主として中学校でAIドリルを各教科で活用し個別最適な学習を進めていく。

AI活用教育については、「安全性を考慮した適正利用」、「個人情報やプライバシー、著作権の保護」等について、教職員はもとより児童生徒に十分に理解させていく。



黒芳中学校



はん ざわ たかし
半澤 高 議員

質問 町の上下水道の維持管理は

答弁 諸計画に基づき対応している



水道管布設替 耐震管に

- 問** 埼玉県八潮市や能登半島地震の教訓により町の上下水道の維持管理等について伺う。
- 答** 町長
- (1) 緊急点検については、事故発生後、国から要請があったが、対象管渠が2,000mm以上かつ1日最大処理量30万m³であったので実施していない。なお、「下水道ストックマネジメント計画」の更新は毎年実施している。
- (2) 漏水対策については、毎年専門業者に地区を指定し実施するとともに、順次、老朽管の布設替えを進めている。耐震化率は、基幹管路約70%、排水管約20%であり、「上下水道耐震化計画」に基づき向上に努める。



は ね だ
羽根田 ひとみ 議員

質問 多頭飼育崩壊防止対策を！

答弁 生活破綻にならぬよう広報する



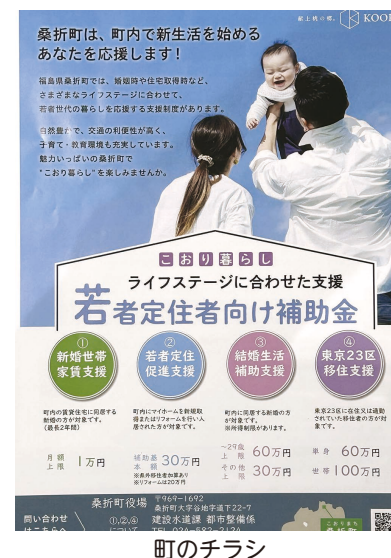
獣医師による手術

- 本町で多頭飼育崩壊があり、動物愛護団体の助けで33匹の猫の去勢手術を行った。獣医師は12月31日に東京からわざわざ来てくれたのだ。その後2月に「桑折猫の譲渡会」とチラシで告知され、福島市内の会場で譲渡会が行われた。今回は愛護団体と獣医師の助けがあったが、他にもこのようなケースがあるのではないか。飼い主の福祉の面からも町として対策が必要と考える。そこで4点について伺う。
- 問** ①多頭飼育崩壊の相談はこれまであったか。
- ②町として去勢手術の補助金の考えはあるか。
- ③譲渡会開催の際、町は協力できるか。
- ④多頭飼育崩壊予防の為の広報の考えはあるか。
- 答** 町長
- ①年に数件ある。
- ②基本的に飼い主の責任で行うものと捉えている。
- ③協議に応じる。
- ④個人生活の破綻にならぬよう広報する。

質問 Uターン移住促進を

答弁 補助金があっても選択は難しい

- 問** 進学や就職などを理由とする転出により人口流出があり、それによって、一人暮らしの高齢者のサポートや、空き家問題が深刻であると思う。その対策として実家のリフォーム工事に對する補助や、あるいは新築工事の補助で、Uターン移住者を促進してはどうか。本町では「若者移住者向けの補助金」があるが、若者に限定することなく、幅広く支援しては。
- 答** 町長
- 移住地については、進学や就職・結婚などの個人の事情により、本町以外に求める場合もあり、その地で生活基盤が確立しているとしたら、たとえ補助金があったとしても、Uターンするという選択肢は難しいと捉えている。



町のチラシ

これも質問

- 問** 公共施設の料金について
- 答** 次年度改正を検討
- 問** 在京桑折会の復活を
- 答** 実施は難しい

質問 風力発電所事業に同意するのか

答弁 事業計画には賛成しかねる

- 問** (仮称) 福島北風力発電事業はHSE(株)が福島市と桑折町の境界付近の山稜上で進めようとしている事業であり、環境影響評価法による「環境影響評価書」の縦覧が1月24日から2月25日まで実施されている。当事業に対する町長の見解はどうか伺う。
- 答** 町長
- (仮称) 福島北風力発電事業については、県からの意見照会に對して野生動物や希少な猛禽類への影響、風車の風切り音やモーター音による騒音、低周波発生や電波障害、景観の悪化などが懸念されることから、事業計画には賛成しかねる旨の回答を提出した。今後、事業者から求められる国有林野の貸付については同意しない方向で対処する。

これも質問

- 問** 大かや園の新風呂カビ対策その後は
- 答** 2月下旬に特殊洗浄作業を実施した
- 問** 教職員の働き方改革の進捗状況は
- 答** 今後も超過勤務時間の低減化に努める



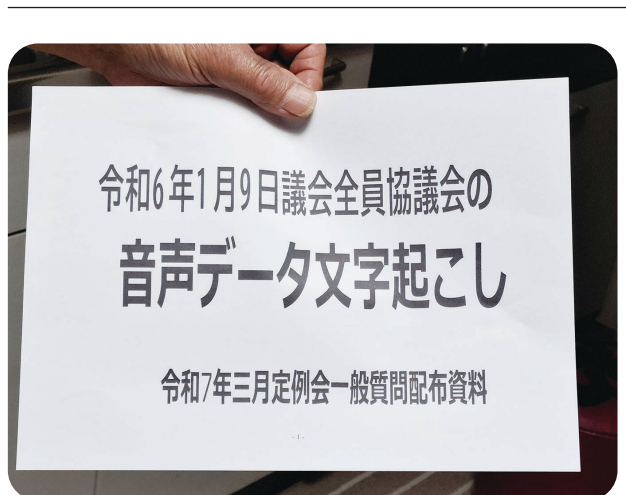
さいとうまつお 齋藤 松夫 議員

質問 小さくてもキラリと光る町づくりは

答弁 復興こおり創造プランをにかけて

問 自立の町がめざしたものは小さくともキラリと光る町づくりであった。よって20年間の総括が必要だ。次の点での総括的所見を伺う。
①原発事故対策
②庁舎建設事業
③蚕糸跡地利活用

答 町長 ①は、総合計画復興こおり創造プランと、除染なくして復興なしのスローガンのもとすすめ、町民の協力を得ながら取り組みを進めた。②は、町民の安心安全及び防災拠点等の理念をかげ進めた。高い評価を得ている。③は、中心市街地の拠点として賑わい創出や活性化に貢献していくものと捉えている。



「基本計画って何のこと」の町長発言がはっきり。公文書虚偽記載の疑いさらに

質問 虚偽公文書・同答弁の事実明白！

答弁 実施要領に基づき進めた事務だ

問 昨年1月9日議会全員協議会及び令和3年6月24日議会全員協議会の関係部分の文字起こしにより、次の事実が明らかになった。
一つめ、町長は昨年の1月9日時点でも、基本協定締結前の基本計画作成の必要性を認識していなかった。基本計画作成の必要性を認識せず、「企画提案書をもって基本計画とした（議会宛回答書）」などの事実が存在するはずはない。
二つめは、「事業者の企画提案は町事業の民営化ではなく、事業者の独自民営事業の提案であった」との町長答弁だが、羽根田八千代議員（当時）が今後の保育所のあり方を質問した際（令和3年6月24日）、町長は「民設民営一本で進む」と答弁していた。これこそ長期間にわたる虚偽答弁の事実を証明するものだ。
答 町長 プロポーザル実施要領に基づき適正に進めた事務執行である。

これも質問

問 核兵器禁止条約早期批准の働きかけを前向きに対処していく
答 町長の考えに追加があったかも
問 「醸中西側方面に統合小学校を予定」と聞いたが事実か
答 簡易水道統合のスケジュールは基本計画（令7・8）、変更認可申請計画策定（令9・10）、そのあとだ



かわむらしげみち 川村 滋道 議員

質問 ハワイピアノ展示活用を

答弁 調律は検討、展示は公民館に



ハワイピアノ睦合公民館に設置

問 昭和26年（1951）ハワイ観光団の団長が睦合を訪問し現地の睦合出身者で作る「ハワイ村人会」の消息を伝えた。睦合中学校は昭和27年（1952）に新校舎を建設したが村は財政が乏しく備品を買えなかった。これを聞いたハワイ睦合村人会が多くの資金（808ドル）当時30万（当時の小学校教員の初任給は5千円・60ヶ月分）寄せてくれこれでヤマハのブランドで知られる日本楽器製のピアノが購入できた。残りの寄付で書籍330冊を購入し「ハワイ図書館」とよばれ又校門のコンクリート門柱にも使われた」と町史に記載。2016年（平成28年）ホノルル福島県人会が古里ツアーで本町を訪れピアノと対面し感激。これらの歴史を踏まえ本町の歴史資料館にパネル案内と同時に本ピアノを調律展示し訪れる方々にアピールしては。
答 教育長 調律は検討する。設置場所の歴史資料館は狭隘なので今まで通り公民館に展示する。

質問 本町の非正規職員の内訳は

答弁 保健師は全員正規、他は別紙

問 別紙（子育て支援員は24名全員非正規、司書2名全員非正規、保育士36人中31名非正規、幼稚園17名中8名非正規）。町の会計年度任用職員の認識は「一時的、臨時的な業務であり、必要な業務が存する場合に雇用する」というおおよそ専門職に該当しない業務の矮小化の認識がある事から現在の雇用形態が生まれている。ジョブ型公務員のように正規公務員として転
答 町長 従来通りの雇用を考えている。条件が合致しないなら自己防衛で本庁職員に応募されなくても良いのではと思う。

これも質問

問 次の小中学校あり方検討委員会の説明会は今回で終わり次回はない
答 災害時の避難所の備品について
問 国の補助金で大幅に備品を拡充
答 蚕糸跡地事業者との協議調整はいつか
令和3年6月4日政策会議後に電話で調整

委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 斉藤 謙

当委員会は、「認定こども園の進捗状況に関して」「少子化時代の学校教育のあり方に関して」所管事務調査を行った。

安心できる認定こども園の施設整備等に関して、教育文化課長を委員会に招聘する等、調査してきた。伊達市教育委員会にこれらに関する調査を視察訪問し、確認等の計画をしておりましたが、伊達市側とスケジュールが合わず、実現されなかった。

なお、委員会報告は6月に公表するものとして、所管事務調査結果に関して、各委員の賛同を得た。

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 武朗

当委員会は、「女性が働きやすいまちづくり」をさらに進めるように12月定例会で調査の申出を行った。理由として、第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗と、厚生分野の視点から一時預かり事業の新設についての調査。委員会で、健康福祉課より地域における子育て支援の各主要施策について、施策の概要や5年度実施状況、6年度の取組、及び桑折町の子ども・子育てを取り巻く現状と課題等についての説明、質疑を実施。また、先進地視察の計画をしたが、調整がつかず見送った。4月に開園する認定こども園に、「桑折町こども家庭センターすくすく」の事業を委託することとなり、現在の運営状況について視察実施。当日は、生後1ヶ月から1歳5ヶ月頃までを対象としたベビールームを視察し意見等も伺った。



広報広聴常任委員会

委員長 半沢 正保

2/16(日)多目的スタジオ イコーゼ!において、第2回議会モニター会議を開催した。「議会だより」をより多くの皆さまに読んでいただけるための方策や若い皆さんが議会に興味・関心を向けていただく方策について話し合いがなされた。詳細につきましては、24・26ページのまとめをご覧ください。

議会運営委員会

委員長 半澤 高

「一般質問のあり方について」の報告を行った。①、②の2点について調査し、結果の主な点は以下の通りである。

①改選前に「インターネット視聴者にわかりやすい一般質問」をテーマに行った調査の継続。

- 各議員の持ち時間を65分とし議員間で確認したのにもかかわらず時間内に終了できなかった事案があったことは誠に残念極まりない。
- 今後、デジタル化の進展を背景に使用する資料については、大画面モニターやタブレット等に表示可能とし、よりわかりやすい一般質問とすべきである。

②「定例会総括レポート」を経ての一般質問の改善点等の調査。

- 定例会総括レポートには、以前の方式の一般質問に戻してほしい、あるいは以前の方式と現在の方式のどちらかを選ぶ選択制にしてほしいとの要望もあったが、「インターネット視聴者にわかりやすい一般質問」をテーマに進めてきた点を重視し、現在の一問一答制を続けることとした。

なお、今後も定例会総括レポートでとりまとめた意見を議会運営委員会で協議し一般質問のあり方について改善を図っていきたい。



質問 70周年記念誌の編集方針は

答弁 「笑顔」「桑折愛」コンセプトに



おかもと たかし
岡本 貴士 議員

問 町制施行70年を迎えるにあたり、記念事業を通じて町民や訪問者にどのようなメッセージや価値を伝えたいと考えているか伺う。

答 町長 記念事業については、幾多の困難を克服してきた先人の功績を称えるとともに、町民の皆様と心ひとつに進めてきたまちづくりのなかで生まれた「桑折ならではの魅力と特色を次世代に継承し、未来に向かって夢と希望をつなぐ契機」として考えている。また、記念事業を通して、歴史や文化、自然に加え、「桃」に代表される新たな地域資源などを町内外に積極的かつ効果的に発信し、更なる交流・関係人口の創出に努めていく。



町制施行70周年記念誌

問 70周年記念誌には、桑折町の歴史や住民の思い出が収録されている。その編集方針について伺う。

答 町長 記念誌については、先人が紡いできた町の歴史に想いを馳せるとともに、町民の「笑顔」と「桑折愛」をコンセプトに「心ひとつに、花咲け未来」に向かって、若者や子どもを中心に作製したものである。

質問 東北道の桑折町の案内板の現状は

答弁 経年劣化、更新を含め協議したい

問 カントリーサインは高速道路上で見られ、特定の地域や自治体を示すための案内板や標識である。東北自動車道（下り車線）における本町を示すカントリーサインの現状について所見を伺う。

答 町長 ネクスコ東日本により、旧伊達郡役所をデザインした看板を設置いただいており、本町の認知度向上に一定の効果がある。一方、経年劣化により確認しにくい現状にある。今後、更新を含めネクスコ東日本と協議を進めてみたいと考えている。



東北道(下り)の標識の現状



議会活動状況報告

◀詳しくは、こちらから

令和6年12月11日～令和7年3月19日

月 日	活 動 状 況	内 容	対 象 者
R6.12.16	〔福島県町村議会議長会〕 地方自治研究交流セミナー（第2回）	○高齢者が安心して暮らせるまちづくり政策について	全 議 員
R6.12.19	議会全員協議会	○12月定例会の総括について	全 議 員
R6.12.20	議会全員協議会	○令和6年第7回桑折町議会臨時会の議事日程等について ○提案理由の説明 ○タブレット導入について	全 議 員
R6.12.20	令和6年第7回桑折町議会臨時会	○条例改正2件、補正予算1件審議採決	全 議 員
R7.1.11	町制施行70周年記念式典・祝賀会	○あいさつ	全 議 員
R7.1.12	令和7年桑折町二十歳の成人式	○祝辞	全 議 員
R7.1.22	〔福島県町村議会議長会〕 地方自治研究交流セミナー（最終回）	○公共交通は地域を持続させるためにある―人口減少・高齢者の進展を念頭に―	全 議 員
R7.1.26	〔第71回文化財防火デー〕 令和6年度桑折町文化財防火訓練	○訓練観覧	全 議 員
R7.2.28	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○提案内容の説明 ○議会運営委員会委員長からの報告 ○令和7年度当初予算説明（議会管理運営費・監査費）について	全 議 員
R7.2.28	令和7年第1回桑折町議会定例会	○会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告・行政報告、町長施政方針・提案理由の説明、補正予算説明、新年度予算総括説明、請願趣旨説明	全 議 員
R7.3.3	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R7.3.3	令和7年第1回桑折町議会定例会	○一般質問（5名）	全 議 員
R7.3.4	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R7.3.4	令和7年第1回桑折町議会定例会	○一般質問（4名）	全 議 員
R7.3.6	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○議会だより 一般質問の原稿等について	全 議 員
R7.3.6	令和7年第1回桑折町議会定例会	○条例制定1件、条例改正11件、その他2件、補正予算5件審議採決	全 議 員
R7.3.7	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R7.3.7	令和7年第1回桑折町議会定例会	○施政方針に対する質問 ○新年度予算常任委員会所管別説明	全 議 員
R7.3.11	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R7.3.14	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○各課主要事業説明書の差替えについて	全 議 員
R7.3.14	令和7年第1回桑折町議会定例会	○新年度一般（特別）会計予算常任委員会所管別質疑（産業厚生常任委員会所管）	全 議 員
R7.3.18	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○教育文化課からの補足説明について	全 議 員
R7.3.18	令和7年第1回桑折町議会定例会	○新年度一般会計予算総括質疑 討論採決	全 議 員
R7.3.19	議会全員協議会	○令和7年第1回桑折町議会定例会の議事日程等について ○追加議事日程について	全 議 員
R7.3.19	令和7年第1回桑折町議会定例会	○新年度特別会計予算4件審議採決 ○新年度事業会計予算2件審議採決 ○追加議案審議採決	全 議 員

地方自治研究交流セミナー

第3回 ●日時 令和7年1月22日(水) 13:30～15:30 ●場所 川俣町役場3F大会議室

福島県町村議会議長会主催伊達郡町村議会議員（桑折町・国見町・川俣町）を対象にした研修会が開催され12名の議員が参加した。

演題「公共交通は地域を持続させるためにある―人口減少・高齢者の進展を念頭に―」のもと講師 国立大学法人福島大学 経済経営学類教授 吉田 樹先生にご講演いただいた。

○伊達郡3町における医療／介護需要の予測

3町の医療需要（通院需要）は既にピークアウト。現在は、介護需要の増加が大きくあと10年間は高水準に推移。「高齢者の増加＝公共交通利用者の増加」とはならない。

○後期高齢者の自家用車の運転可否による活動機会の格差

自家用車の運転を中止することで、活動の機会が低下するとともに、行きたい場所が減少する。

○「与えられた」交通を脱却し、課題解決へ（事例）

- ・地域住民による「くらしの足」の確保、スマイルグリーン号
- ・スクールバスと路線バスの一体再編
- ・タクシーを活用した移動サービス

以上のような、主な項目等について、地域公共交通のあるべき姿について理解を深めることができた。



第2回議会モニター会議が開催されました

日 時 令和7年2月16日(日) 13:30より

場 所 イコーゼ！キッズランニングコース

参加者 ●議会モニター 伊藤和磨 齋藤 忍 齋藤久美子 中田 巧

●議会議長 原 賢志 ●広聴委員長 半沢正保

●広聴委員 齋藤松夫 羽根田ひとみ

内 容 2点について、話し合いが行われた。

1 「議会だより」等へのご感想ならびに、町民の皆さまに広く読んでいただくための方法を提案いただいた。

2 「議会モニター年間活動」について、ご感想を述べていただいた。（こちらは最終ページで紹介いたします。）



議会だよりの充実のために、どうすればよいかを話し合っているようす

「議会だより」へのご感想

若い人たちが町政に興味をひかれる紙面づくりをめざしてほしい。

子どもたちが政治に関心をもつことができるように、模擬議会や傍聴など工夫してほしい。

YouTube等簡単に検索し視聴することができれば、もっと興味を持ってもらえるのではなおい。

各議員の特集ページで考えや方針などの掲載があれば、熱意や思いが伝わると思う。

表紙などいろいろ工夫されていると思う。web配信をもっとアピールしてほしい。

数字や文字が多くなると読む意欲がなくなってしまう。簡略に表記してほしい。

選挙の時に掲げた公約が各議員にとって、どの程度達成されたかを掲載してはどうか。

広報こおりのようにLINE配信すれば、より身近なものとなり、広く読んでいただけるのでは

モニターの意見を積極的に反映し、以前よりはるかに読みやすくなった。たいへんありがたいと感じる。

親しみやすさ目新しさを考慮した試みは感じられた。

子どもの頃から政治への何らかの関わりや関心を持つことが必要だと思う。議会だよりにもそのような観点で新しい試みを期待する。

「議会報告・意見交換会の概要報告」のコーナーは特にわかりやすくまとめられており読みやすかった。

デザインが明るい色合いになりイラストなどが入ることで親しみやすさがアップした。

令和6年度議会モニターの皆様からいただいた感想

議会モニターの主な活動は、「議会だより」をご覧ください、ご意見・ご感想を寄せていただくことです。また、議会モニター会議を開催し、意見交換することで、議会への理解を深め、よりよい町にしていこうとするものです。

令和6年度議会モニターの皆様、活動にご参加いただき本当にありがとうございました。皆様からのご感想を順不同で掲載いたします。

議会モニターになり以前より町政に関心が持てた。議会だよりが届くと中身もしっかり読むようになり、現在の課題や町施策の状況など理解できるようになった。

意見交換会にも出席し、町民からの質問について時間制限を設定した方がたくさんの方が質問できるのではと思った。

議員全員の方々や議会モニターの方々との交流する機会があったらよかった。

議会モニター活動を通して、議員のどうしたらもっと議会に関心を持ってもらえるかという思いを感じることができるとともに町政への関心が深まった。

「議会だより」は、議会モニターからの意見を積極的に取り入れ、改善していただけたことが多々あったことに大変うれしく思った。ありがとうございました。

町のことについて、いろいろ思う機会が多くなった。

議会だよりの感想を言うだけだったが議会だよりを読んでもらうために議会も考えていることを感じた。

議会モニターメンバー間や議員との関わりがほとんどなかったなので、もっと積極的に関われば良かったと思った。

議会活動に興味を持ち、議会だよりを読んでいくようになりました。今後も継続して桑折町政の動きを注視し関わっていききたい。

令和6年度 桑折町議会モニター

佐藤未来 伊藤和磨 山川多美子 佐藤 篤 齋藤 忍 齋藤久美子 中田 巧
本間英樹 安藤政浩 菅野真仁 以上10名

議会報告・意見交換会開催のお知らせ

日時 令和7年5月25日(日) 第1部 13:30より 第2部 16:00より

場所 イコーゼ！多目的スタジオ

内容 ●議会報告ならびに議員のなり手不足調査特別委員会の説明 ●意見交換

編集後記

今年、本町は昭和30年1月に1町3村が合併し70周年を迎え、多くの記念事業を予定している。・4月下旬 半田山開き ・9月 こおり宿楽市・楽座（宿場町として栄えた当時を再現する市の開催と山車の運行）・本町にゆかりのある漫画家「安彦良和」氏描き下ろしの「半田銀山」歴史漫画を編集製本。・「物置のピアノ」再上映等。

町民の皆様と楽しむ企画です！わくわくしますね！奮って参加し楽しみましょう。

昭和～平成～令和と激動の時代は流れ、そして、未来に向かって急速に動いています。本町の未来が輝き、幸せを実感できるまちづくりをすすめ、次世代に繋げていく事が私達の責務ではないかなと考える昨今であります。

石幡 政子

まちの歳時記

町政施行70周年記念イベント



「桑折・半田銀山」の歴史まんがの一場面（安彦良和 作画）

●広報広聴常任委員会編集委員

委員長 半沢正保 副委員長 石幡政子
委員 齋藤松夫 委員 羽根田ひとみ

こおりまち
議会だより

令和7年5月9日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 議会広報広聴常任委員会

電話 024(582)2113
印刷 陽光社印刷株式会社